



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF K O B E

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

CHARTERED FEBRUARY 17 · 1930



- ブラザークラブ：高雄（台湾） チェンマイ（タイ） 米子（西日本区）
- 国際会長主題：すべての世界に出て行こう—イクステンション、イクステンション、イクステンション
- アジア会長主題：未来を始めよう、今すぐに—ひとつのアジア、世界はひとつ
- 西日本区理事主題：志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう
- 六甲部部長主題：さらなる交流、さらなる国際、さらに活発な六甲部へ
- クラブ会長主題：クラブの伝統を踏まえ、それぞれの役割を愉しみながら、全員参加でクラブの新しい「顔」を皆で作ろう。そして、クラブに、沢山の新しいメンバーを迎え入れよう。

2013年7月

KICK OFF/EMC-C 強調月間

今月の聖句

「澄み渡る大空はなんと高く壮大であることか。天の姿はなんと栄光に満ちていることか。太陽は現れ、燦然と昇り行き、宣言する。いと高き方の御業はなんと驚嘆すべきものかと。」

旧約聖書続編：シラ書43章1～2節

7月9日(火)第1例会

開会点鐘 18時30分 進藤啓介会長
 ドライバー 大塚章信メン
 ワイズソング
 聖句朗読・開会祈祷
 [プログラム]
 ・総会例会
 ・ハッピーバースディ
 閉会点鐘 20時30分 進藤啓介会長

7月誕生日おめでとう

3日 尾上 尚司
 4日 森 愛子
 12日 山本 史絵
 21日 座古谷光夫
 21日 菅原 進

6月在籍者	6月出席者	6月出席率
19名	メン 14名	74%
広義会員	メネット 7名	(含メイキャップ)
0名	コメット 0名	前月出席率
合計 19名	ゲスト 1名	79%
	合計 22名	

6月分BFポイント

切手 0円	現金 14850円
本年度累計	
切手 0円	現金 14850円

7月23日(火)第2例会 19:00~

- ◎8、9月例会の詳細確認
 - ◎今年度例会スケジュール確認
 - ◎その他事務連絡
- 第2例会においても、重要な議題を協議し決めてゆきます。都合をつけて出席をお願いします。

会長 進藤啓介 副会長 長内建佑 井出 浩 会計 森 章一
 書記 鶴丹谷剛 山本亮司 連絡主事 山本亮司

口座番号 三井住友銀行三宮支店 普通預金No. 1494643 名義人 神戸ワイズメンズクラブ 会計 橋本正晴
 例会：第1例会 毎月第2火曜日 18:30 第2例会 毎月第4火曜日 19:00

会長メッセージ 展開

進藤啓介

新しい一年のスタートを思い、楽しみと同時に不安も少し顔をのぞかせます。過去数年で、神戸クラブの良さも確認し、又未開の力も解ったように思いますが、今年的一年を始めるにあたり私自身は「展開」の一年と定義して進みたいと思います。特に、新しいメンバーの入会に力を注ぎ、新しい風の中で楽しいクラブライフを模索していく一年かなと思います。

昨年一年で、地域奉仕の目標が、又、ファンドの活動が、広報、EMCの目指すところがそれぞれ、見えてきたと思います。交流は、DBCの継続が出来ました。今年にはIBCの大きなイベントがあります。今年度は是非、昨年見つけた事業それぞれの目標に向かって実行していきたいと思います。それぞれのメンバーが自分にできる事を、できる事からお互い助け合ってやっていきましょう。

只、私の思いとしては、Yサ・ユース事業の中で、今までとは違った、新しい、積極的なYMCAとの接点を探そうとしましたが見つけられませんでした。今年にはYMCA素人の「目」で探してみたいものだと思います。

それぞれの活動を皆でコツコツと楽しくやるなかで、自信を持ってメンバーの勧誘が出来、「自然とクラブメンバーが増えてくればいいな」と思っています。

今年の会長方針は昨年とほぼ同じです。少し違うのは、今も申し上げましたが、「行動の目標が、具体性が少し見えてきた事」と、「その結果、クラブメンバーを増やそう」ということです。決めた事を皆で楽しくやり遂げながら、ぜひ、メンバーを増やし、楽しい例会を持ちましょう。

6月11日第1例会報告

6月第1例会は、今春3月、タイ・ワークキャンプに参加したユースリーダーに、ワークキャンプの報告をしていただいた。例年、短い時間設定で、感想を語っていただく程度であったが、今年は、まとまった時間をとり、スライドも準備していただいて、ワークキャンプの様子、またユースリーダーの様々な思いを聞かせていただくことができた。

その後、食事と歓談の時をはさみ、進藤会長から、あらためて次年度活動の基本方針の案が示された。示された方針に添って、メンバーからそれぞれの思いが語られ、次年度の活動方針が確認された。

クラブから

▼新年度がはじまりました。会費の納入をよろしくお願ひします。



＜今月の聖句に添えて＞

大空を仰いで太陽や月それに無数の星を眺めながら、人々の心に浮かんだことは神の素晴らしいお働きであった。聖書は天地創造の神が中心で、すべてが動きまた存在すると信じられていた。本当に素朴ではあるが確信に満ちた神信仰であった。

(山根貞夫司祭@神愛修女会・深和ホーム)

「ワイスの輝き、和や・から」 をテーマに第16回西日本区大会 盛大に開催される！

山口 徹

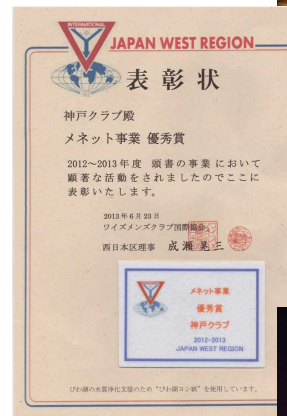
2012-2013年度理事主題は、「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで地域で、国際社会で」でした。最初に、『故 成瀬晃三西日本区理事のワイズ運動にかけるひたむきな姿勢と三現主義に裏打ちされた行動力は、多くのワイズメンに共感を生み、今年度西日本区各地に大きな感動と成果をもたらしました』という西日本区理事代理、高瀬稔彦氏の開会挨拶があり、参加者800余名に大きな今大会の意義と協力を訴えられました。従って、例年になく、多くの方々の挨拶、各種報告に、召天された成瀬理事の功績と思いが述べられ、参加者一同、心と思いがひとつになったような感が強かったのは私だけではなかったようです。それは、特に、1年7ヶ月の期間に亘って準備して下さったホストの中部9クラブと名古屋YMCAの皆様方の温かく、強い志に裏づけされたものでした。

西日本区のメンバーも努力の結果、増強され、各部会、各事業ともかなり充実した活動になったことが報告されました。とりわけ、東日本大震災支援については、各地YMCAはもとより全てのワイズメンズクラブ、メネットが微力ながら全身全霊をもって取り組んでおられ、今後も「Big Heart Project」として活動を継続されることが決定され、今後、高瀬西日本区新理事のリーダーシップのもと、更に、各ワイズメンの思いと願いとともに被災者にどの様に寄り添えるのか問われました。

当クラブは、進藤会長以下、鶴丹谷直前会長、城夫妻、橋本夫妻、井出さん、佃さん、そして、小生の9名が参加いたしました。

聖日礼拝にて西村清牧師によって語られた「すべて私たちを働かせる神のご計画の中で、私たちは絶えずどの様な立場あるのかということ問い続けなければならない」という御言葉を胸に秘め、帰路につきました。

特筆すべきことは、神戸メネットクラブが、今年度メネット事業「優秀賞」を受賞されたことです。ワイズメンズクラブと共にいつも歩んでくださるメネットに心より感謝いたします。



お知らせ

▼2013～2014年度六甲部第1回評議会

日時：2012年7月13日（土）13:30～19:00

登録開始13:00

場所：神戸大学 海事科学部(深江キャンパス)
梅木ホール

(神戸市東灘区深江南町5-1-1)

登録費：第1～2部 1,000円(会場費、資料代等)、
第3部 男性 4,500円 女性4,000円
(但し、1～2部出席の入会1年以内の
ワイズは¥2,000)

プログラム

第1部 評議会

第2部 EMC研修会 15:30～16:45

第3部 8クラブ納涼懇親交流会 17:00～19:00



Kobe Menettes

Declared March 10・1965

メネット会長2年目を迎えて

長内靖子

あっという間の一年でした。メネットの皆様のご協力の元、無事に一年を過ごすことができました。感謝申し上げます。今年も楽しいメネットの1年になればと思います。

今期は、新たな奉仕活動を考える一年にしたいと思います。双方の思いが通じ、無理がなく、自分たちのできることを少しずつ、と考えていくことができる一年にしましょう。

今期に結論を出すことを目的とせず、方向性を決めていけば、皆とますます同じ方向に舵をとれるのではないのでしょうか。

毎年恒例の奉仕活動の一つ、YMCA のバザーでは、前日に値段を決めて値札を付けたり、当日は販売など大忙しの2日間で疲れるのですが、充実感があります。YMCA の支援を頑張っている実感があります。お昼の中庭での生ビールの美味しいこと。そんな楽しみでも頑張れますよ。一人一人の奉仕は些細な僅かなことでも、行動が大切です。私も「あ～しんど」って行かなくなれば、何もない一日です。行けば、誰かに会える。話ができる。奉仕活動もそれでいいのではないのでしょうか。

仕事に頑張っている時、子供を育てている時期、自分ではどうしても自由にならない期間があります。自分の時間がないと思いがちですが、それも子供と一緒にかけがえのない自分の時間です。それに気付くのにはずいぶん時間がかかりました。

今は、仕事を辞めたらこんなことしてあんなことして！と思っていますが、この忙しさの波に乗っている時こそが充実した時なのでしょう。50歳も半ばになって、自分の人生設計図は、見えてきましたが、まだまだ何が起こるか分かりません。

というのも、先日、蜷川幸雄氏（77歳）率いる62歳～最高齢は87歳（平均年齢74歳）の41名の演劇集団‘さいたまゴールドシアター’の清

水邦夫作『鴉(からす)よ、おれたちは弾丸をこめる』を観劇したからです。「年齢を重ねるということは、様々な経験をつまり深い喜びや悲しみや平穏な日々を生き抜いてきたということの証でもあります。その年齢を重ねた人々がその個人史をベースに身体表現という方法によって新しい自分に出会うことは可能ではないか？」ということがこの演劇集団を創ろうと思った動機だそうです。

この戯曲は、学生運動が下火になってきた1971年に若者たちによって初演されました。法廷を占拠し、見栄や自尊心に粉飾された男社会に我慢してきたお婆さんたちが、体制を守る番人の検察官や裁判官の男たちをどんどん死刑宣告して殺していくという過激なお話です。結成7年目を迎えて、パリ公演も大成功しました。

舞台の始まりは一人ずつ水槽に体を折り曲げて入っている状態です。「蜷川さん年寄りに無茶するわぁ」と思いましたが、そこから一転法廷となります。老人の役を実際の高齢者が演技するので、ハラハラもしますが（台の上に乗ったり、大きな荷物をもって階段を降りたり）今の若者が演じるのではなく、その時代を実際に経験された説得力があります。最後は瞬時に本物の若者に変身し、そして全員射殺されてしまいます。なんだか泣けました。ゴールドシアターの方々は、7年前のオーディションに受かってから、新しい人生が始まりました。大変な努力だと思います。

もう「年だから」とか「いい年をして」なんて言えませんが。80歳から新しい自分との出会いはなんてわくわくします。介護や年金など老後を不安にするニュースばかりの中、まだまだ何でも出来るんだと希望が湧きます。ゴールドシアターの方々も家族や現場で付いている方々の手助けがいるに違いありません。私も周りに遠慮なく年を取っていきたいと思います。お芝居はしませんが・・・